

製品名: JDP2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12832**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	22kDa

抗原情報

遺伝子名	JDP2
別名	JDP2; Jun dimerization protein 2
遺伝子 ID	122953.0
SwissProt ID	Q8WYK2
免疫原	抗血清はヒト JDP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 114-163

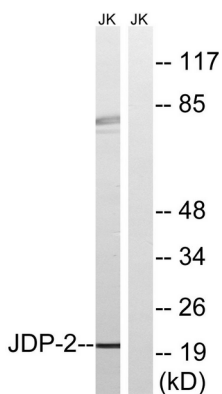
背景

機能: AP-1 転写因子の構成要素であり、Jun ファミリータンパク質による転写活性化を抑制する。紫外線誘導性アポトーシス、細胞分化、腫瘍形成、抗腫瘍効果など、AP-1 に関連する様々な転写応答に関与する。また、ヒストン脱アセチル化酵素 3/HDAC3 を JUN

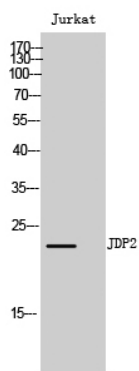
のプロモーター領域にリクルートすることで、リプレッサーとして機能する。ヒストンの修飾とクロマチンの組み立てを直接制御することで転写を制御する可能性がある。、PTM: 紫外線照射、酸化ストレス、アニソマイシン処理などの様々なストレス条件に応答して、MAPK8によるThr-148のリン酸化が引き起こされる。、類似性: bZIPファミリーに属する。ATFサブファミリー。、類似性:1つのbZIPドメインを含みます。、サブユニット:JUN、JUNB、JUND、CEBPG、ATF2とホモダイマーまたはヘテロダイマーを形成し、JUN、ATF2、CEBPGによるトランス活性化を阻害します(類似性による)。cAMP応答エレメント(CRE)やTPA応答エレメント(TRE)などの複数のDNAエレメントにホモダイマーまたはヘテロダイマーとして結合します。、機能:AP-1転写因子の構成要素であり、Junファミリーのタンパク質によるトランス活性化を抑制します。UV誘導アポトーシス、細胞分化、腫瘍形成、抗腫瘍など、AP-1に関連するさまざまな転写応答に関与しています。また、ヒストン脱アセチル化酵素3/HDAC3をJUNのプロモーター領域にリクルートすることで、リプレッサーとしても機能します。ヒストンの修飾とクロマチンの組み立てを直接制御することで転写を制御する可能性があります。、PTM: 紫外線照射、酸化ストレス、アニソマイシン処理などの様々なストレス条件に対するMAPK8によるThr-148のリン酸化。、類似性: bZIPファミリーに属します。ATFサブファミリー。、類似性: 1つのbZIPドメインを含みます。、サブユニット: JUN、JUNB、JUND、CEBPG、ATF2とホモダイマーまたはヘテロダイマーを形成し、JUN、ATF2、CEBPGによる転写活性化を阻害します(類似性による)。cAMP応答エレメント(CRE)やTPA応答エレメント(TRE)などの複数のDNAエレメントに、ホモダイマーまたはヘテロダイマーとして結合します。、

研究分野

画像データ



JDP-2抗体を用いたJurkat細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



JDP2ポリクローナル抗体を用いたJurkat細胞のウェスタンブロット解析

